

令和2年度 事務事業総点検シート(1)
[令和元年度事務事業]

一般会計					事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	女性教育振興事業				シート番号	007-043
担当部署名	市民人権	局	男女共同参画推進	部	男女共同参画センター	課 評価責任者(課長名)
						瀧口

Ⅰ. 基本情報

基本情報	1	堺市マスタープランの政策体系に基づく事業の位置付け	政策	2	誰もが幸せで、暮らしの質の高いまちを実現します	後期実施計画の位置付け
			施策	5	男女共同参画の推進	無
	2	事業開始年度	平成 30 年度		終了(予定)年度	— 年度
	3	根拠法令等(法令、条例、規則、要綱等)	女性の職業生活における活躍の推進に関する法律			
	4	関連計画				
5	事業実施の経緯	女性の地位向上と社会参画を図るため、女性教育により資質・技術・文化などの講座を実施する。				

Ⅱ. 事業概要

事業概要	6	事業の実施主体(誰が実施しているのか。)	<input type="checkbox"/> 本庁 <input type="checkbox"/> 各区 <input checked="" type="checkbox"/> 出先機関 (男女共同参画センター) <input type="checkbox"/> 市外郭団体 <input type="checkbox"/> 地域団体・市民 <input type="checkbox"/> 民間企業・NPO <input type="checkbox"/> その他 ()			
	7	事業の対象(誰を、何を対象としているのか)	堺市在住・在勤・在学の市民			
	8	事業の目的(どのような状況にしたいのか)	女性教育により資質・技術・文化を高め、女性の地位向上と社会参画を図る。			
	9	事業内容(スケジュール、実施方法・手段、事業ボリュームなど)	国際ガールズデー(10月11日)記念として、女性の人権問題の解決やDV対策などの講演会や上映会を実施。 女性を対象とした、就職・社会参加支援事業として、ステップ・アップ・スタディを開催。所作やコミュニケーション術などの講座を実施。 <input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()			
10	直接実施以外の主な支出先					

Ⅲ. 投入量

項目	単位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度
		予算	決算	予算	決算	予算	決算	予算
11 事業費 (a)	千円	0	0	200	81	220	133	214
主な事業費内訳	国際ガールズ・デー記念事業	千円			81	100	0	90
	リカレント教育	千円		200		90	54	90
		千円						
		千円						
財源内訳	国・府支出金	千円						
	受益者負担金(使用料、手数料等)	千円						
	市債	千円						
	その他()	千円						
一般財源	千円			200	81	220	133	214
12 人件費 (b)	千円		0	34	34	34	34	50
13 総コスト(c)=(a)+(b)	千円	0	0	234	115	254	167	264

令和2年度 事務事業総点検シート(2)

事務事業名	女性教育振興事業	シート番号	007-043
-------	----------	-------	---------

Ⅳ. 評価(測定・分析)》

ロジックモデルの考え方



事業の活動実績や成果

令和元年度実績							
活動実績と成果	14	<p>女の子の権利やエンパワメントの促進を広く国際社会に呼びかける国際ガールズ・デー(10月)を記念し、その趣旨を啓発するための映画上映と講演を開催。 女性が教育を受ける権利を世界に訴え続けているパキスタンの少女マララ・ユスフザイ氏のドキュメンタリー映画「マララ 教育を求めて闘う少女-」を上映。その後マララ氏の活動の追加説明や日本の女性差別問題の状況などの講座を行った。女性差別問題について、国際的な視点や、日本国内で起こっている問題などをテーマにすることにより、幅広い視点で女性教育の重要性について啓発することができた。 女性を対象に再就職・社会参加支援事業としてステップ・アップ・スタディを開催。所作やコミュニケーション術の講座を実施し、女性の再就職・社会参加などを促した。</p>	[14]令和元年度実績の欄に定性的・定量的情報も含め、活動・結果・成果について具体的に記載				
	[15]または[16]に定量的な指標、または定性的な目標を記載						
	指標名【成果指標】		単位		平成29年度	平成30年度	令和元年度
	15	国際ガールズ・デー記念事業をはじめ、女性のリカレント教育に関する講座の延べ受講者数	人	目標値	-	300	300
				実績値	-	117	261
				達成率	-	41%	87%
				評価	-	悪い	普通
	算出方法・設定根拠など		受講者数から算出・令和2年度は感染症対策により講座の定員や回数を削減するため目標値を変更				
	指標名【活動指標】		単位		平成29年度	平成30年度	令和元年度
	16	国際ガールズ・デー記念事業をはじめ、女性のリカレント教育に関する講座の実施回数	回	目標値	-	2	4
				実績値	-	2	4
				達成率	-	100%	100%
				評価	-	良い	良い
	算出方法・設定根拠など		講座実施回数				

事業の効率性

		区分	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
17	①	受講者数	人	-	117	261
	②	上記①にかかる年間経費	千円	-	115	88
	③	単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位		983	337
	備考(算出についての説明等)		講座にかかる経費(人件費含む)			
		区分	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
18	①	講座の実施回数	回	-	2	4
	②	上記①にかかる年間経費	千円	-	115	88
	③	単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位		57,500	22,000
	備考(算出についての説明等)		講座にかかる経費(人件費含む)			

業績の分析

	<p style="text-align: center;">目標を達成できた、または達成できなかった要因や効率性についての分析 (その他、関連情報に基づいた分析)</p>	
19	<p>国際ガールズ・デー記念事業については、多くの参加があり女性教育の重要性を啓発することができた。 ステップ・アップ・スタディについては、再就職・社会参加を希望しているターゲットに向けた、募集方法、講座のPRについて、改善する必要がある。</p>	

【分析のチェックポイント】

- 事業の達成度はどうでしたか。
- 5W2Hを踏まえて、実施過程に問題はありましたか。
- 資源投入は適切でしたか。
- 事前想定できない外的要因の影響はありましたか。
- 有効性は高いですか。低いですか。
- 効率性は向上していますか。
- RPA等をはじめとするICTを活用する余地はありましたか。
- ターゲットに応じた最適媒体の選定など、戦略的な広報ができていましたか。

令和2年度 事務事業総点検シート(3)

事務事業名	女性教育振興事業	シート番号	007-043
-------	----------	-------	---------

《V. 点検》

＜点検の前提＞

- 新型コロナウイルス感染症の影響により、本市の財政運営は今後一層厳しくなる
- 新型コロナウイルス感染症拡大防止と社会経済活動の両立をめざす

○上記「点検の前提」を踏まえ、事業の抜本的な見直しを検討するもの。

⇒

<input checked="" type="checkbox"/>	確認
-------------------------------------	----

コロナ禍を踏まえた点検（必要性・有効性・効率性）	20	本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を廃止できないか。	事業廃止の可能性 <input type="checkbox"/> 廃止できる <input checked="" type="checkbox"/> 廃止できない	廃止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響 男女格差を国別に比較したジェンダーギャップ指数は世界153か国中、日本は121位と低い順位であり、今後も男女共同参画社会の実現に向けた学習の場の提供は重要である。大学入試の女性差別問題など、女性の社会進出等は未だに根強い問題がある。 特に今後は新型コロナウイルスの影響によって、就職問題を始めた様々な女性差別問題が顕在化する可能性があるため、女性教育の事業は重要である。
	21	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を休止(延期)できないか。	事業休止の可能性 <input type="checkbox"/> 休止(延期)できる <input checked="" type="checkbox"/> 休止(延期)できない	休止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響 新型コロナウイルスの影響によって、就職問題を始めた様々な女性差別問題が顕在化する可能性があるため、女性教育の事業は重要である。
	22	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、事業規模を縮小するなど、コスト縮減を図ることができないか。	コストの縮減 <input type="checkbox"/> 一部廃止しコスト縮減できる <input checked="" type="checkbox"/> 一部休止しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 規模等を縮小しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 事業手法等を改善しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 縮減できない	縮減できる場合は具体的な縮減内容、できない場合はその理由 国際ガールズ・デー記念事業は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、今年度は休止しコストの縮減を図る。 次年度以降については、感染症の状況を踏まえ検討していく。
	23	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 社会経済活動の維持・回復のほか、3密を避けるなどの市民や民間の活動変容への対応に向け、実施手法を改善する必要がないか。	事業手法の適切性 <input type="checkbox"/> 改善する必要がある <input type="checkbox"/> 改善する必要がない <input checked="" type="checkbox"/> 既に対応できている	改善する場合は改善策、その他は理由 施設管理として、手指消毒液の設置や、講座の定員の設定、換気の徹底を図っている。
	24	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 効果的・効率的な事業の実施に向け、右に掲げる視点から改善できないか。	効果的・効率的な事業実施(以下の観点で、改善する(または改善済)場合は <input checked="" type="checkbox"/> 、改善しない(改善余地がない場合を含む)場合は <input type="checkbox"/>) ① <input type="checkbox"/> 公民連携の推進 ② <input type="checkbox"/> ICT活用による効率化 ③ <input checked="" type="checkbox"/> 他部局との適切な連携・役割分担 関係部署名 () 関連事業名 () ④ <input checked="" type="checkbox"/> 国・府等との適切な役割分担・連携 ⑤ <input type="checkbox"/> 他政令市等との比較におけるサービス水準の均衡 ⑥ <input type="checkbox"/> その他 ()	理由・説明 女性教育について、教育委員会事務局と情報共有している。 女の子の権利やエンパワーメントの促進を広く呼び掛けるため、国際NGOプランインターナショナル等と連携し、啓発事業を行っている。
25	これまでの点検を踏まえ、今後の事業のあり方についてどのように考えるか。	事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止または延期 <input type="checkbox"/> 事業を縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 現状を継続 <input type="checkbox"/> 事業を拡充 公金投入の方向性 <input type="checkbox"/> ゼロ <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大	実施年度 <input checked="" type="checkbox"/> 令和2年度 <input type="checkbox"/> 令和3年度 <input type="checkbox"/> 令和4年度以降	
	所見	ジェンダーギャップ指数の改善や、女性差別問題など、女性の社会進出等は未だに根強い問題がある。女性教育をより推進し、女性の地位向上と社会参画を図っていく必要がある。		